

神奈川県横浜市神奈川区 「かめ太郎」着ぐるみ使用マニュアル



神奈川県横浜市神奈川区
かめ太郎

1. はじめに

この着ぐるみ使用マニュアルは、神奈川県マスコットキャラクター「かめ太郎」の着ぐるみを正しく使用していただくために、その使用方法や注意事項についてまとめたものです。

かめ太郎が地域の皆さんをはじめ多くの方々に親しまれ、愛されるよう、さまざまな場面に活用していただきますようお願いいたします。

2. かめ太郎の着ぐるみの使用について

- ①かめ太郎の着ぐるみに関する著作権は神奈川県に帰属します。
- ②かめ太郎の着ぐるみの使用は、このマニュアルに従って正しく使用してください。
マスコットキャラクターのイメージを壊したり、指定のパーツ以外のものを装着したりして使用することなどはできません。

●装着イメージ



★着ぐるみを使用する前には、以下の点を必ず確認しておくこと。

■人員体制■

- 装着・操演をするときは、2人以上で交替して行う体制が理想です
- 1回の操演は30分程度を上限とし、必ず休憩をとる
(最大1人1日3公演までを目安とする)
- アテンド(補助者)は、必ず1人以上つけ、移動時などの補助を行う
子どもが集まるイベントでは、アテンド(補助者)を必ず複数つける
- 装着・操演する人およびアテンド(補助者)は、必ずこのマニュアルを熟知しておく
- イベントなどにおいては、演出などについて主催者や司会者と十分に打ち合わせを行っておく
※マスコットキャラクター「かめ太郎」は、操演中などに会話などを発声することは禁止です

■控え室の確保■

- 控え室は、着替えることのできる十分なスペースがあり、着ぐるみを広げることのできる部屋を用意する
- 控え室は外部から覗かれることがないように留意する
[例]
 - ◎控え室は関係者以外の立ち入りを禁止する
 - ◎入口前にパーテーションを置き、外部から控え室が見えないようにする
- 着ぐるみを置くビニールシートを準備する
(汚れた床や地面に直接置くことは 厳禁)
- ステージ、登場ポイントに近い場所が望ましい

■運搬車両などの確保■

- 保管袋を積載できる車両および2人以上の運搬人員を確保する
- 使用の前および後の使用状況を確認し、受け渡しの調整を行う
- 無人の車内に保管する場合は短時間でも必ずロックをすること

★身長155cm～170cm程度の男女が適任

■基本の服装■

●頭

- ・長い髪はゴムでまとめ、タオルなどで髪が垂れてこないようにまとめる
- ・ヘアピン、ヘアクリップなどは使用しない

●顔

- ・眼鏡は使用せず裸眼かコンタクトを使用する
- ・やむをえず眼鏡を使用するときは、曇り止め、眼鏡バンドをする

●体

- ・夏 上:長袖Tシャツ
下:ジャージ・スパッツ・レギンスなど足首まであるもの
- ・冬 上:トレーナー・長袖Tシャツ
下:ジャージ・スパッツ・レギンスなど足首まであるもの

●足

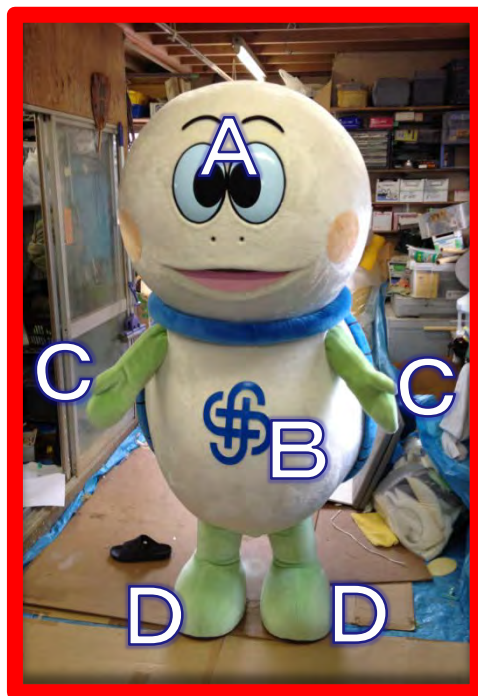
- ・靴下履き
- ・裸足は禁止

※注意事項

- ◆手袋、靴下を使用して、中に汗が残らないようにする
- ◆眼鏡・ピアス・アクセサリは外す
- ◆化粧はとる
- ◆前日の睡眠不足・二日酔いなどは厳禁
- ◆必ず適度なストレッチなど準備運動を行う
- ◆夏場は限らず熱中症対策で水分補給を確実に行う
- ◆体調不良、便意など緊急の場合に備え、アテンドへのサイン・伝達方法を決めておく
- ◆火気厳禁(着用したままの喫煙は厳禁)
- ◆雨天時の屋外使用は禁止

■ パーツ構成 ■

- A...頭
- B...胴体
- C...手(左右2セット)
- D...ブーツ(左右別、大小あり)
- E...タスキ
保管袋4、



■ 着替えの手順 ■

- ①ブーツを穿く(大、小あるので自分に合ったサイズのブーツをはく)
- ②胴体をかぶる
肩ベルトを調節し手を出す穴からひじから先が出るようにする
※炎天下など厚くなる場合はクールベストを着用する
- ③頭をかぶり、胴体と固定ベルト(前後ろ2か所)で固定する。
股のマジックシールを留める
※顎の縫い目と首の輪の縫い目を合わせること
固定ベルトは緩みが無いようにしっかり引っ張ること
- ④手をもらい着ぐるみの中で装着し手をだす
- ⑤タスキを付ける

※必ずアテンドが補助する

■装着■**●頭(面)の視線を常に意識する**

- ・装着すると構造上、のぞき部分からは左右が見えないため注意する

●周囲への注意を怠らない

- ・胴体周りなど近くの人、特に足元の子どもに十分注意する

■動き■**●オーバーアクション気味に動く**

- ・着ぐるみは手足が短いので、意識的に大きく動かないと動きが小さく見える

- ・腕は肘から先しか動かないため、より大きな動きを心がける

●子どもを抱きかかえることは厳禁

- ・事故につながる危険性がある

●会話など発声することは厳禁

- ・キャラクターイメージを壊さないため

●操演者の感情は表に出さない

- ・不都合な場合はアテンドに対応してもらう

●アテンドと「緊急事態」「トイレ」「我慢できない」などを知らせるサインを決めておく

- ・周囲から殴る、蹴るなどの行為を受けたときもアテンドへのサインで対処する

■移動■**●進行スピード・進行方向については、アテンドの指示に必ず従う**

- ・着ぐるみの視界が狭いため、目の届かないところはアテンドの指示により把握する

- ・階段は注意する

●走る行為は厳禁

■環境■**●必ず操演時間を守る**

- ・操演は30分以内とし、休憩を必ずとる
- ・炎天下では、操演時間を短くするなどし、水分補給を必ず行う
- ・保冷剤などでの体の冷却も効果的

●引火の危険があるので火気のそばには絶対に近づかない

- ・装着したままでの喫煙は厳禁

●雨天・雪の日は屋外に出さない

- ・汚れの原因になる
- ・着ぐるみの足は滑りやすいので転倒する危険がある
(転倒した場合、修復不可能な破損や汚れになる場合がある)

★突起物に押し当てないようにする**★操演中に破損したときは、直ちに使用を中止する****★夏場でなくても体温で熱がこもり、操演者は熱中症になる危険があります**

■位置■

- 着ぐるみとは「つかず離れず」を心がけ、何かのときにはすぐ対応できる距離にいる
- 必ず着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を引いて着ぐるみの歩行を補助する(階段や段差などはその存在を必ず教える)
 - ・進行方向や人、障害物の存在を確認し、操演者に伝える
- アテンドが2人以上つく場合は前後に分かれる
 - ・後方アテンドは後方から触ろうとする人への注意を促す(着ぐるみが振り返るときなど、後方は危険)

■声かけ■

- ポイントでは、必ず状況を操演者へ知らせる
- 握手・写真撮影は、相手の位置、カメラ方向を伝える
 - ・声かけは親しげに操演者にではなく、“かめ太郎”への声かけとして行う

[例]

「かめ太郎、握手したいお友達が左にいますよ」

「かめ太郎、お友達と写真を撮りますよ、少し右側にカメラですよ」

- 控え室を出たら操演者と無駄話をしない
- 着ぐるみのアクションで周囲の人にぶつかった場合にはまず、アテンドが謝り、着ぐるみにも明るく謝らせる

■対応■

- 周囲の状態に絶えず気を配る
 - ・操演者は視界が非常に悪いので、声かけにより周囲の状況を知らせる
- 操演者の様子に気を配り、無理をさせないようにする
 - ・出演時間はあらかじめ決めておき、時間管理の上、切り上げるタイミングを考えておく(延長はしない)
- 着ぐるみ胴体周辺に集まる子どもには特に注意する
 - ・操演者の視界には子どもが入っていないことが多い
- 着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度で注意する
- 「誰が入っているの？」などの質問の答えは「かめ太郎ですよ」とにこやかに一言だけ答える
- 握手や写真撮影の際、人の整理を行う
- 「抱きかかえてほしい」との要望は明るくお断りする
 - ・「手が滑るんです」など動作的な理由は言わず、「かめ太郎は抱っこできないんです」と説得する

★出演が終了したらお客さんのいないところで着替えをします 決して着替えはスタッフ以外には見せないこと

■終了後のメンテナンス■

- 着替え後は各パーツを十分乾燥させるため、風通しがよいところへ各パーツを広げます
- 裏返し出来るパーツは裏返しにするとより早く乾きます
- すべてのパーツの内部(人体が接触していたところ)にファブリーズなど消臭スプレーを十分吹きつけます
- 汗が大量にしみついている場合はタオルなどで汗を拭きとってください
- 十分乾燥したら、袋に収納してください
- 汚れ、破れなどが無いか確認してください
汚れがあった場合、たたき洗いで出来るだけ汚れを落とし、必ず報告してください
破れの場合も必ず報告してください

【注意】

汚したり、破損した場合は、クリーニング代や修繕費を負担していただきますので、装演や取り扱いには細心の注意をお願いします。

★運搬時は必ず収納袋に入れて、パーツをけしてお客様に見られないように大事に取り扱う

★転がしたり、引きずったりなどは絶対にしない

■運搬■

- 運搬時一人で無理して持たず、手助けをお願いする
- 車両運搬の際は、保管袋が入る車を用意する(乗用車の後部座席程度)
- 他の物品と運搬する場合には、かめ太郎の上に重いものは絶対乗せない
- 落下や、ぶつけるなどの衝撃は避ける